



あさまる通信

第45号 4月

発行：習志野販売株式会社
〒275-0016
千葉県習志野市津田沼5-11-10 吉田ビル3F
TEL 047-454-2355 FAX 047-454-2357
URL <http://www.asamaru.com/>
e-mail info@asamaru.com

※プレゼントは裏面にあります。

ばか面踊りは船橋の漁師町が発祥です。昔「疫病の発生」「海難事故」「不漁」などが続いた為、漁師たちは海上の「無事・安全・大漁・万歳」を祈願して、船橋大神宮・八剣神社の夏祭りに神輿と踊りを奉納したのです。それが習志野市にも波及したものです。「テケテン スク テケ スク テン スクス」これは「ばか面おどり」の基本のリズムです。通常は「岡崎」という曲で踊るので、当同好会では保存会の許可を得て、色々な曲で踊っています。

ばか面踊りは船橋の漁師町が発祥です。昔「疫病の発生」「海難事故」「不漁」などが続いた為、漁師たちは海上の「無事・安全・大漁・万歳」を祈願して、船橋大神宮・八剣神社の夏祭りに神輿と踊りを奉納したのです。それが習志野市にも波及したものです。「テケテン スク テケ スク テン スクス」これは「ばか面おどり」の基本のリズムです。通常は「岡崎」という曲で踊るので、当同好会では保存会の許可を得て、色々な曲で踊っています。



【ばか面おどり初心者講習会】
ばか面おどりの初心者講習会が3月5日(土)袖ヶ浦公民館で行われました。

今回講習に参加したのは4人です。田久保先生から「ばか面おどり」の説明を聞いてから練習です。踊りのポーズは海の様子をイメージしたもので、面の種類によって手ぬぐいの巻き方や踊りが違います。「おかめ」は家で待っている女房です。手ぬぐいを被りその端を結ぶだけの簡単なものです。踊りも女性らしく、振りも小さく踊ります。「わらい」は大漁の喜びを表しています。手ぬぐいを

の練習の成果が思いっきり発揮されていきました。最後の締めでマツケンサンバIIを会員も一緒に踊って踊り講習会は終了しました。講習を受けた4人に感想を聞くと「楽しいけれど難しい」という声がありました。顔は晴々としていました。会員の方も「いつもより楽しかった」「教えながら自分も勉強になった」「音楽を聞くこと、ついで体が動いてしまう」とおっしゃっていました。会員は随時募集しています。活動日は、袖ヶ浦公民館にて毎月第一土曜日18時からです。



連絡先TEL(451)4854田中

半分に折り、端を結び、前は折り返します。踊りは大らかで楽しそうです。「ひょっこ」とは時化の悲しさを表しています。手ぬぐいをほっかむりにし、横でねじって結びます。悲しさというよりも、すねているような愛嬌のある踊りです。「おこり」は不漁の怒りを表しています。ねじり鉢巻で耳の上で結びます。おこりだけは怒りの握り拳で踊ります。4人はそれぞれ好きなパートで、踊りの練習が始まりました。最初は恥ずかしそうでしたが、慣れてくるとだんだん楽しそうに踊り、薄っすらと汗も浮かんでいきます。練習の後にはみんなの前で発表会です。面をつけると大胆になったのか、それぞれ

あさまるinfo

※芸術祭参加ダンスパーティー

開催日：平成17年4月23日(土) 午後1時~午後4時40分
会場：習志野市菊田公民館3F講堂(京成津田沼駅から徒歩5分)
料金：前売り1,000円 当日1,200円(いずれも軽食付き)
連絡先：芸術文化協会事務局 電話 047-454-6821

※「第10回わんぱく相撲習志野場所」わんぱく力士とお料理体験参加者募集

開催日：平成17年4月24日(日) 午前9時~午後3時半
会場：習志野市立東部体育館
参加対象者：習志野市内の小学校1年生~6年生 参加費：無料
申込期限：平成17年4月15日
連絡先：(社)習志野青年会議所事務局

〒275-0016 習志野市津田沼4-11-14 習志野商工会議所館内
電話・FAX 047-452-9909(月~金 午前9時~正午まで)
わんぱく担当事務局：清水、根本、織戸
電話 090-8107-5005(月~金 午前9時~午後5時まで)

申込方法：お問い合わせの上、所定の申し込み用紙にて郵送またはFAXしてください。または、下記ホームページからも申し込み出来ます。

ホームページアドレス <http://www.narashino-jc.com/>

※平成17年度「谷津干潟の日」市民作品展作品募集!!

募集期間：平成17年5月1日(日)~5月22日(日)まで
展示期間：平成17年5月31日(火)~6月12日(日)まで
募集条件：谷津干潟の自然に関する作品とし、保全等にそぐわない作品はお受けできません。応募者は市内外を問いません。作品の提出については、観察センターへお持ちください。

作品種類：

- ①写真/規格は四つ切り、四つ切りワイド、2L 1人2点まで、先着50点
- ②絵画/油絵(額入れガラス抜き)、水彩画・鉛筆画・版画(額入れガラスとも)で応募、規格は10号サイズ以下、1人2点まで先着各20点
- ③八ガキ絵/1人4点まで、先着40点
- ④書道/規格は半紙(24cm×33cm)1人2点まで先着30点
- ⑤短歌・俳句/規格は並幅(6cm×36cm)短冊にて応募、1人2点まで、先着30点

提出先：谷津干潟自然観察センター 谷津干潟の日実行委員会事務局
電話：047-454-8416 詳細については、お電話でお問い合わせください。
主催：谷津干潟の日実行委員会・習志野市

【第12回生涯学習フェスティバル】

3月12日(土)13日(日)の両日、新習志野公民館で第12回生涯学習フェスティバルが行われました。新習志野地区学習圏協議会が主催となり「新習志野愛ネット」のキャッチフレーズで、地域の交流や古い文化の継承などを目的として行われています。新しい町ならではの試みとあっていいでしょう。1日目の前広場ではバザーと秋津・香澄地区の住民による模擬店やイベントがありました。バザーでは子供服や日用品などが色とりどりに並び、始まる前からの行列でした。模擬店は美味しそうなお味の漂う中で開かれ、秋津コミュニティーのつぎたての



餅は飛ぶように売れ、餅つきが間に合わない程でした。NPOならしの子ども劇場のヤキソバなどは昼前には売切れてしまいました。また風船友の会のペンシルパルーンも大人気で、子供達は順番が待ち切れない様子でした。広場でのパフォーマンスは、新習

囃子による笛や太鼓のお囃子から始まりました。次の秋津保育所の秋津ソーランは、可愛らしく元気な子供達の踊りに合わせ、会場からも「ソーラン」とうたいしよ」と声援が挙がりました。その後の保育所の先生による和太鼓などはアンコールの嵐でした。香澄小学校の香澄ソーランの踊りは、勇壮な漁師の姿が表現されていました。秋津小学校のばか面おどりは、保存会の指導で一所懸命に練習したそう、笑いの渦が広がりました。フィナーレを飾ったのは習志野シンフォニックブラスです。空まで響くような金管楽器の爽快な音が会場が盛り上がりました。2日目のイベントは、ぐるーぷバクヤ人形劇団すぎのきの人形劇、サロンコンサートなど楽しく、素敵なイベントが催されました。